

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公開番号】特開2013-173244(P2013-173244A)

【公開日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-048

【出願番号】特願2012-37836(P2012-37836)

【国際特許分類】

B 4 1 J 2/165 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 2 H

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月20日(2013.9.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記払拭部材搬送手段の駆動速度を制御する制御手段を備え、

前記制御手段は、前記払拭部材を前記液体吐出ヘッドの前記液体吐出面に当接させて前記相対移動によって前記液体吐出面を払拭する際に前記払拭部材搬送手段を第1の駆動速度で駆動させ、前記払拭部材が前記たるみ除去部材に接触しているときに前記第1の駆動速度よりも高速の第2の駆動速度で前記払拭部材搬送手段を駆動させる請求項3に記載の液体吐出装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

払拭ウェブ32がヘッド20のノズル面22の払拭を開始する時点でたるみ102が除去されている状態が得られるように、たるみ除去部材80の平面部82の大きさ(相対移動方向の長さL)は、当接時に発生する払拭ウェブ32のたるみ102の量(たるみ量)と、ヘッド移動速度(相対移動速度)、ウェブ駆動ロール50によるウェブ搬送速度を考慮して設計される。ヘッド移動速度やウェブ搬送速度は、払拭ウェブ32の物性、洗浄液の特性、相対移動機構90の制御性、生産性、ウェブ使用量などを総合的に考慮して決定されるが、一般的には、ウェブ搬送速度はヘッド移動速度(相対移動の速度)に比べて十分に小さい速度に設定される。例えば、ウェブ搬送速度は、ヘッド移動速度の1/10以下の速さに設定される。好ましくはウェブ搬送速度がヘッド移動速度の1/20以下の速さに設定される。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

<ノズル面の清掃動作について>

ノズル面清掃装置 250 は、ヘッド 232 が画像記録位置からメンテナンス位置へ移動する過程において、払拭ウェブ 312 を走行させながらヘッド 232 のノズル面 233 に摺動させてノズル面 233 を払拭する。